

患者支援センターだより



お知らせ

地域連携専用の予約枠を拡張しました

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

この度、神戸大学医学部附属病院では地域医療機関からのご紹介のスムーズな受け入れのため、『地域連携専用の予約枠』を拡張いたしました。（※一部の診療科を除く）

これにより予約のお申し込みから予約票返信までの時間短縮および予約待機日数の短縮を目指しています。今後も当院への予約申し込み時のご不便を解消すべく改善に努めてまいります。

皆様の変わらぬご指導とご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

<ご予約にあたっての注意事項>

- ✓ 初診での専門医の予約はお取りできない場合があります。
- ✓ 受診希望日当日の予約はお取りできません。

※当日の受診のお問い合わせは代表番号（078-382-5111）へご連絡ください。

- ✓ 急患や診療の進行状況によっては待ち時間が発生する場合があります。

患者支援センター 地域連携部門



Contents

・地域連携予約枠の拡張について	1
患者支援センターからのご案内	
・病院訪問のご案内	2
・「第8回地域連携セミナー」開催報告	3
診療科・部門からのご案内	
・循環器内科	4
・認知症センター	6
国際がん医療・研究センターからのご案内	
・泌尿器科	8
・耳鼻咽喉・頭頸部外科	9
患者支援センター問い合わせ一覧	10

■ 病院訪問のご案内

これまでご訪問いただきました医療関係者の皆様には改めてお礼申し上げます。
当院へのご訪問は、下記要領にてお申し込みください。

お申込の方法

下記アドレスにメールにてお申込ください。

患者支援センター広報 sienkoho@med.kobe-u.ac.jp

メール記載事項

1. 貴施設名

2. 希望日時

◆希望日

※可能であれば希望日時は3つ程度ご提案ください。

◆希望時間帯を選び、ご記入ください。

① 11:00～11:30 ② 11:30～12:00

③ 15:00～15:30 ④ 15:30～16:00

⑤ その他（ご希望に添えない場合もございます）

3. ご訪問の内容

◆特にご希望の診療科や議題がある場合にはお書きください。

（例）希望内容 △△科の新任挨拶・セミナーのお知らせ



皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

例 施設名 ○○医院
希望日時 第一希望 8月 9日 ① ②
第二希望 8月 26日 ④

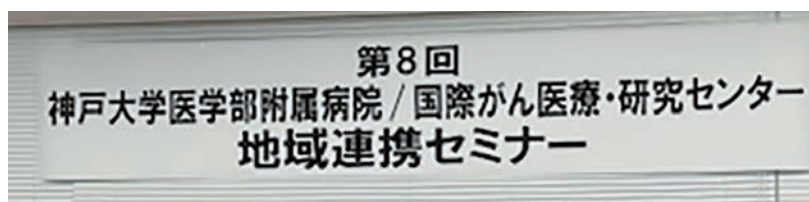
「第8回神戸大学医学部附属病院／国際がん医療・研究センター 地域連携セミナー」開催報告

2024年11月7日（木）、日ごろ当院と連携いただいている病院・診療所・訪問看護ステーションさまにご参加いただき「第8回神戸大学医学部附属病院／国際がん医療・研究センター地域連携セミナー」を開催いたしました。

昨年度と同様に神戸大学医学部福利厚生施設「神緑会館記念ホール」を会場に、院内外から計189名の関係者の方にご参加いただきました。佐々木副病院長のご挨拶に続いて、診療科からの情報発信として、本院の3診療科（脳神経外科篠山教授、皮膚科久保教授、産科婦人科寺井教授）、国際がん医療研究センター（ICCRC）泌尿器科八尾特命准教授からの講演、患者支援センターの板東センター長・塩川副センター長による看護の地域連携の取り組みが発表され、皆さま熱心にお聴きいただきました。

講演会終了後の情報交換会も、会場が狭く感じるほど大変盛況で有意義な意見交換の場になりました。

お忙しい中ご出席いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。





循環器内科からのご案内

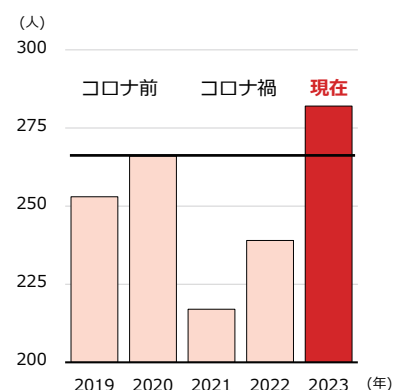
■ 地域医療機関の先生方へ



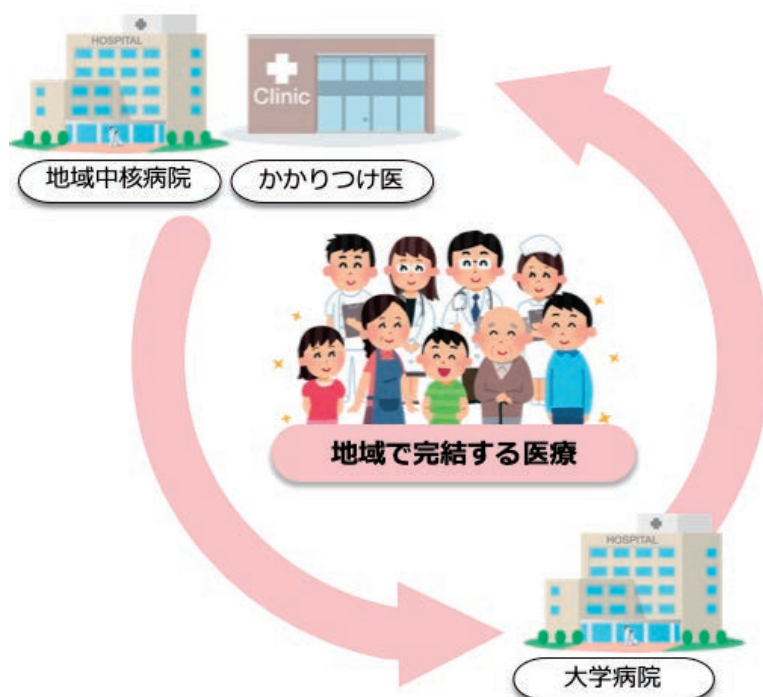
神戸大学循環器内科は冠動脈疾患（狭心症や心筋梗塞）、不整脈、心筋症、弁膜症、心不全（重症心不全含む）、下肢動脈疾患、肺高血圧症、成人先天性心疾患など多岐にわたる循環器疾患の診断・治療を行っております。最近では、従来の冠動脈へのカテーテル治療に加えて、経カテーテル的大動脈弁植込術（TAVI）や経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip, マイトラクリップ）などの弁膜症を始めとする構造的な心疾患や心房中隔欠損症など成人先天性心疾患へのカテーテル治療も積極的に行っております。心房細動などの不整脈疾患については、従来の高周波カテーテルアブレーションよりも安全性が高いと報告されているパルスフィールドアブレーション治療も最近開始しております。

大学病院では、このような最先端の治療を行うと同時に、治療に難渋する患者さんや重症患者さんを受け入れる県下最後の砦としての役割も担っており、昨今の超高齢化社会化、心不全パンデミックに伴う患者さんの増加、働き方改革による人手不足による各病院・診療所からのSOSも多くいただいております。実際、大学病院の循

循環器内科救急車受け入れ数



臓器集中治療室に入院される患者さんの数やご紹介いただいている患者さんの数もコロナ禍以前と同水準まで回復しており、さらに救急車受け入れ台数はコロナ禍以前よりも増加しております。そのため、私たち神戸大学循環器内科は、より「身近な、いつでも頼れる大学病院」であり、地域で患者さんの命と健康を守る One Team の一員であり、積極的に患者さんの受け入れを行なっていることを改めて皆さんにお伝えしたいと考えています。



例えば、胸痛を訴え来院された患者さんで、急性冠症候群も鑑別には挙がるがはっきりはしない。そんな時はぜひ私たちへご相談ください。「大学に相談するのに、もし違ったら…」と思われることもあるかもしれませんが、それで全く問題ありません。少しでも疑わしければいつでも気軽にご相談ください。

他にも、最近少し息苦しいと言って来院された患者さんに収縮期心雑音があったとき、これまでは「大学に相談・紹介するには少し敷居が高い」と感じておられ方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、そういった患者さんこそ気軽にご相談ください。状況に応じて、救急での対応や翌日以降で

の外来受診など臨機応変に対応させていただきます。このような「身近な、いつでも頼れる大学病院」を実現するため、ホットラインの活用や循環器内科専用の夕方や休日の予約窓口の設置、公開講座や SNS を用いた担当者の顔の見える化といった方策を今後実践していく予定にしております。

従来通り、重症患者さんや治療に難渋する患者さんはいつでもご相談ください。お困りのときはいつでも大学病院で対応いたします。それに加えて、日常の診療の中でのちょっとした困り事も私たち神戸大学循環器内科にご相談ください。病病連携や病診連携を密に、地域に寄り添う大学病院として、各病院・診療所の皆様と地域の医療に貢献したいと考えております。また、病態が落ち着かれました方に関しましては、先生方との併診や逆紹介を勧めさせていただきますので、その節には何卒ご協力ご高診を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

連絡先

緊急対応が必要な患者の問い合わせについて
TEL : 078-382-2415
(CCU 担当医、24 時間 365 日対応可能)



循環器内科 HP



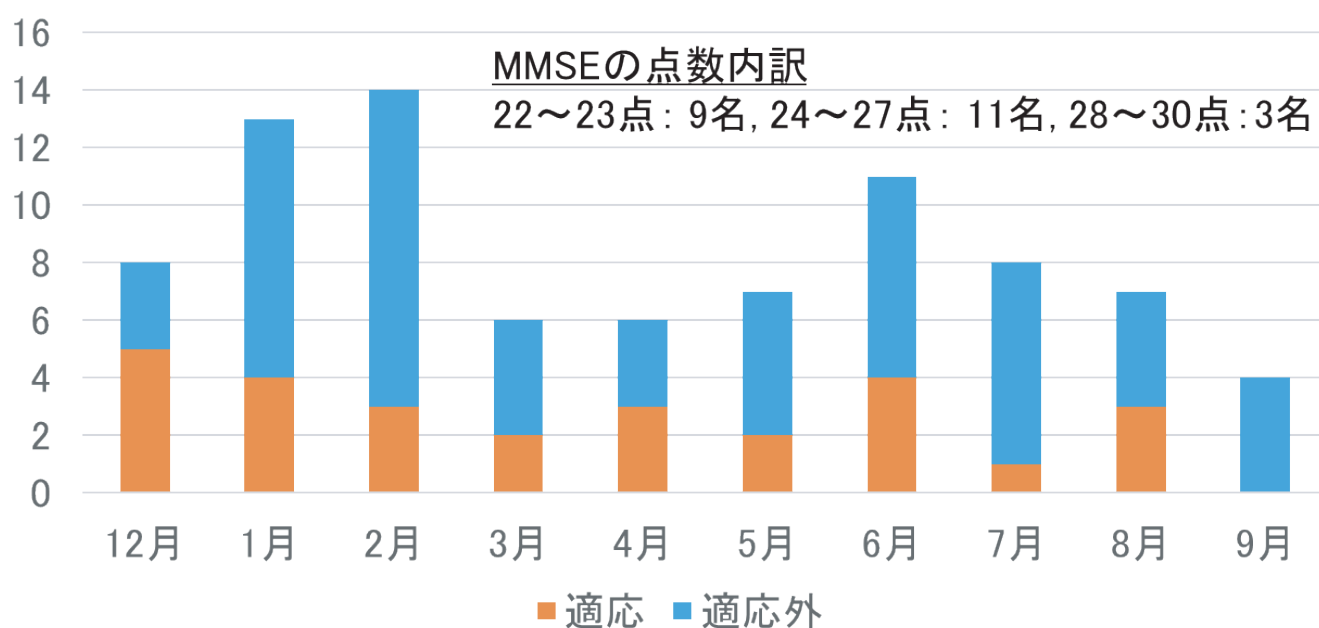
認知症センターからのご案内

センターの紹介

当院の認知症センターでは精神神経科と脳神経内科の2科共同体制で認知症診療にあたっています。それぞれの科の特性や得意分野を生かし、早期診断からBPSDへの対応まで幅広いニーズに対応しています。

認知症センターの認知症抗体医薬治療に対する取り組み

月毎のレカネマブ適応症例数(27例)



2023年12月にアルツハイマー病の新薬であるレカネマブ（製品名：レケンビ）が保険承認されました。世界で初めての疾患修飾薬であり、投与にて症状進行を約6か月間遅らせることができるとされています。現時点でレカネマブ適応症例は紹介患者の約3割であり、進行例やMRI病変、アルツハイマー病以外の鑑別疾患で除外となっているのが実情です。一方でMMSE 28点以上で一見問題ないような症例でもレカネマブ適応となる場合があります。病的なものの忘れが疑われた場合は当センターへご紹介を頂けると幸いです。

新薬ケサンラについて

2024年11月に新しい認知症治療薬であるドナネマブ（製品名：ケサンラ）が保険承認されました。ドナネマブはレカネマブと異なり、①MMSEが20～28点が適応となること、②点滴投与は2週間毎でなく4週間毎になること、③投与12か月後のアミロイドPETにて投与完了可否を検討することが挙げられます。治療効果や副作用は各々で異なるため、詳細は各メーカーのホームページをご参照ください。



連携医療機関について

レカネマブ投与は2週間毎に点滴投与を行う場所の確保が必要となるため、施設毎に投与可能な人数が決まっています。当院のような初回投与を行う医療機関においては、新規症例へのスムーズな導入が可能のように他施設との連携を行うことが重要です。投与において心配される副作用であるARIAに関してですが、治験におけるARIA-Eの発生は原則6か月以内に出現し、ARIA-Hは18か月を通して出現するも投薬の有無で差異はなかったと報告されています（当院は現時点で1名）。投与6か月を経過した症例については、既にいくつかの医療機関で受け入れて頂きました。今後も6か月を経過する症例が控えており、対応可能な医療機関につきましては適宜ご相談させて頂きたく存じます。もし投与症例のお引受けに関する事前準備でご相談がありましたらWeb面談等も実施しておりますので、ご連絡ください。

認知症新薬「レカネマブ」の投与を希望される神戸市の方へ

神戸市では、65歳以上の市民を対象に自己負担ゼロで認知症診断を受けることができる「診断助成制度」を実施しています。まずは受診券を申込みのうえ、第1段階の認知症検診を行っている地域の医療機関を受診してください。第1段階で認知症の疑いの有無が判断され、症状が比較的軽く、問診や医師の診察によりレカネマブが適用される可能性があるかと判断された場合には、当院をはじめとした第2段階の診療を行う専門医療機関を受診いただける仕組みとなっています。第2段階でのレカネマブの投与対象かどうかの診断を含む、認知症の診断に関わる検査費用は全額助成対象となっています。

※診断後の治療費（レカネマブの薬代等）は、助成の対象外です。

神戸モデル



認知症の人にやさしいまち 神戸モデル 

[トップ](#) | [神戸モデルとは](#) | [診断助成制度の流れ](#) | [第1段階
認知機能検診](#) | [第2段階
認知機能精密検査](#) | [事故救済制度](#) | [よくあるご質問](#) | [実施医療機関の
みなさまへ](#)




これから検診を受ける方
 第1段階／認知機能検診 受診券の申込み
[専用フォームからの申込みはこちら](#)


認知症診断を受けている方
 認知症事故救済制度（賠償責任保険・GPS安心かけつけサービス）の利用を希望する方はお申し込みください。
[認知症事故救済制度をみる](#)


神戸市の認知症施策
 認知症に関する相談窓口や、認知症の方が受けられる支援・サービスがあります。
[神戸市の相談窓口や支援をみる](#)

認知症の人にやさしいまち 神戸モデルとは

神戸市では、65歳以上の市民を対象に早期受診を支援する「認知症診断助成制度」と、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「認知症事故救済制度」を組み合わせて実施しています。

お問い合わせ先

認知症センター（外来診療棟3階 精神科神経科外来内）
 平日：9時00分～12時00分および13時00分～17時00分
 （土・日・祝日・年末年始はお休みです）
 TEL：078-382-6908（直通） E-mail：ncenter@med.kobe-u.ac.jp





ICCRC

泌尿器科からのご案内

神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター（ICCRC）

八尾昭久

神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター（ICCRC）泌尿器科は、2017年4月のセンター開院と同時に泌尿器癌の先端的治疗や新規デバイスの開発を行うために設置されました。

開院時から当センター泌尿器科を牽引して下さった山口雷蔵先生が今年7月に退官され、8月より小生を含めた当院スタッフ4名のほか本院からの応援も得て、内視鏡手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術を中心に低侵襲、高精度手術を施行しています。

当院で施行している先端的治疗の一端をご紹介しますと、まずは神戸大学が開発に協力した国産初の手術支援ロボット「hinotoriTM」を用いた手術が挙げられます。現在更なる進化を目指して、5Gネットワークを介した遠隔ロボット手術支援や、様々なナビゲーション技術の開発が当院で行われています。

その他、前立腺癌については、高解像度MRIの情報を取り込んだ超音波診断装置による精度の高い狙い撃ち生検を行う傍ら、近隣の神戸低侵襲がん医療センターや神戸陽子線センターなどの放射線治療専門施設と共同で、IMRT、サイバーナイフ、陽子線治療に、金マーカー＋前立腺直腸間のハイドロゲルスパーサー留置を加えた高精度、低侵襲の放射線治療を行っています。また前立腺肥大症に関しては2023年9月よりロボット制御下に高圧水流で前立腺を切除する全く新しいコンセプトの手術を関西圏で初めて導入いたしました。

膀胱癌については、アミノレブリン酸を用いた蛍光補助下の経尿道的手術施行しており、再発率の低下に務めています。

それ以外にも、顕微鏡下の男性不妊手術、レーザーによる尿路結石手術なども行っています。

当院は約50%の個室率を誇り、他院に比べ低いご負担で個室に入室いただけます。入院いただいた患者さんには、新しい快適な環境で、先進的な医療をお受けいただけるよう配慮いたしております。



▶ オペ室



▶ A個室



ICCRC 耳鼻咽喉・頭頸部外科からのご案内

ポートアイランドにある神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター（ICCRC）は、外科系診療科が手術治療を主に行っている分院です。耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の手術も積極的に行っています。

大倉山の医学部附属病院（本院）耳鼻咽喉・頭頸部外科にご紹介いただいた患者さんのうち、併存疾患が少なく、短期入院を希望される方、気道リスクの少ない方にICCRCでの手術をご案内しています。具体的には、耳では鼓室形成術やアブミ骨手術、顔面神経減荷術など、鼻内内視鏡手術（ESS）、喉頭微細手術、また口腔・咽頭・頸部の小さな手術や、耳下腺腫瘍などの手術に対応しています。

ICCRCには当科の医師が本院から交代で常駐し、手術には丹生健一教授、柿木章伸教授をはじめ当科各分野の専門スタッフが赴き、責任をもって手術を担当しています。2024年4月より藤田 岳 准教授がセンター診療責任医師として本院と兼務で担当しています。

ICCRC 耳鼻咽喉・頭頸部外科の特色

- ① 本院よりも設備が新しく、快適な入院環境をご提供できます。また個室費用が本院よりも安価に設定されており、ご好評をいただいております。
- ② 耳・鼻・咽喉頭・頭頸部の疾患のうち、比較的侵襲の少ない手術を短期入院で行っています。
- ③ 手術に特化した病院ですので、リンパ節生検・顔面神経減荷術・外リンパ腫など手術を急ぐ症例にも柔軟に対応が可能です。
- ④ 頭頸部アルミノックス外来として、頭頸部がんに関する予約制セカンドオピニオン外来を丹生健一教授が行います。

ご紹介

どのような患者さんも、まずは神戸大学医学部附属病院（本院）にご紹介いただければ幸いです。ご紹介いただいた患者さんのうち、症状・疾患に応じてICCRCあるいは本院での手術をご案内しています。頭頸部アルミノックス外来については、光免疫治療適応の有無に関わらず、頭頸部がんの診療についてご相談いただくことができます。ご予約については本院患者支援センターまで、ご相談ください。

アクセスマップ

Access Map



外来診療日・診療時間

General outpatient care

外来診療日・診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:00	○	○	○	—	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○

※土・日・祝日は休診日となります。※予約のない初診は受け付けておりません。

電車でのご利用

- ・ポートライナーで医療センター駅へ
- ・三宮駅からポートライナー神戸空港行で約12分
- ・神戸空港駅からポートライナー三宮行で約5分
- ・医療センター駅で降り、北へ100mです。

お車でのご利用

各方面から神戸大橋を渡りおよそ15分です。
三宮東の港島トンネルも利用できます。

神戸大学医学部附属病院 International Clinical Cancer Research Center

国際がん医療・研究センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町一丁目5番地1号

TEL.078-302-7111（代表） FAX.078-302-7147

<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/icrc/>

【医療機関専用】 患者支援センター問い合わせ先一覧

神戸大学医学部附属病院 代表番号 078-382-5111

✳ 業務時間／平日 午前8時30分～午後5時00分



主な業務	対応職種	連絡先
- 退院支援（在宅支援・転院・施設支援） - 各種制度に関する問い合わせ	看護師 ソーシャル ワーカー	TEL：078-382-6623 FAX：078-382-5267
- 診療情報提供書の仲介 - 訪問看護指示書発行手続き - 入院相談（緊急の場合は各診療科へお願いします）	事務員	TEL：078-382-6627 FAX：078-382-5267
広報	事務員	TEL：078-382-5522 MAIL：sienkoho@med.kobe-u.ac.jp
外来紹介予約 FAX 受付【地域連携部門 予約担当】 FAX 受付時間：平日 午前8：30～午後7：00 土曜 午前9：00～午後0：00 ※日・祝日、年末年始及び、GW、 お盆期間の土曜日を除く。 電話受付時間：平日 午前8：30～午後5：00 ※土日・祝日、年末年始を除く。	事務員	TEL：078-382-5264 （予約専用） FAX：078-382-5265 （予約専用1） ：078-382-2650 （予約専用2） ※7枚以上の送信は予約専用2にお願いします

※患者さんからの直接のお問い合わせは受け付けておりません。必ず紹介元医療機関を通じて、ご連絡ください。
 ※入院日日程に関しては、各診療科にお問い合わせ下さい。

アクセスマップ

